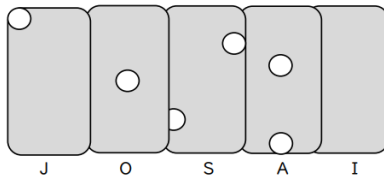


# 学校坂道

～ 校長だより ～



「元気」と「笑顔」

2025年(令和7年)10月22日

## 粹

〔 校長の独り言 〕

プロ野球、パ・リーグのクライマックスシリーズでファイターズに勝利したホークス。  
試合後、本拠地球場のオーロラビジョンに、次のようなメッセージが流れました。

(観客動員数を挙げ、)これはホークスだけの力ではなく、パ・リーグ6球団、  
特に『最強』ライバルであるファイターズ、そしてファイターズファンの皆さまと  
ともに、パ・リーグを熱く盛り上げた結果だと思っています。

来シーズンも、新庄監督率いるファイターズとホークスは良きライバルとし  
て、今年に負けない熱い戦いを繰り広げたいと思っています

ホークスはパ・リーグの代表としてあと1つ、山を超えます。  
必ず日本一を勝ち獲ってパ・リーグの誇りを示してまいります。

このメッセージは、ファイターズへのリスペクト、そして、チームの決意や誓いの現れだと思  
います。

勝負の世界では、勝者と敗者が出ますが、結果が出た後でのこのメッセージに「粹」  
を感じました。

また、ベンチリポートとして、敗者となった新庄監督の談話では、

すごく良いファイナルステージだったし、良い試合だった。  
シーズン通して頂点を取ったのがホークスさん。  
1位同士が行くのが日本シリーズなので、ぼくたちが行くべきではない。

という内容が伝えられました。

果敢に挑戦したものの、敗者となり、くやしさを潜めながら、独特の表現でリスペクトを  
現す「粹」を感じました。

こうした正々堂々戦う、スポーツマンシップを持つ球団や指導者の姿勢に  
感動しました。

一方で、我が身を振り返り、未熟さを感じました。